

気象情報と町の対応

8月5日(日)	
午後2時 2分	大雨警報 発令
2時25分	土砂災害警戒情報
2時30分	警戒1号配備
2時45分	防災無線広報(大雨警報発令による注意喚起)
3時15分	防災無線広報(洪水に関する注意喚起)
6時43分	大雨洪水警報 発令
7時30分	管理職招集
11時00分	災害対策本部設置
6日(月)	
午前0時00分	避難所開設(中央公民館)
0時45分	避難所開設(生涯学習センター)
2時00分	避難所開設(農村環境改善センター)
3時00分	避難所開設依頼(長者原・富田・福寿野公民館)
3時40分	避難勧告 発令(町全域)
3時49分	エリアメールで周知
3時52分	防災無線で周知
午後1時31分	洪水警報 解除(注意報に)
5時50分	大雨(土砂災害警戒情報) 警報 解除(警報に)
6時40分	大雨警報 解除
6時40分	避難勧告 解除 避難所閉鎖
6時50分	防災無線広報(避難勧告解除)

被害状況等 (H30.8.17現在)

(1) 人的被害	被害なし
(2) 建物被害	
(住 家)	床上浸水 3棟
	床下浸水 60棟
(非住家)	小屋等 20棟
	牛 舎 2棟
(その他)	床上浸水 2棟(徳洲苑 ほか)
	床下浸水 3棟(町役場本庁舎 ほか)
	土砂流入(全壊) 1棟(舟形八幡神社)
(3) 孤立集落	
	本 堀 内(1戸 3名、8月6日午後3時解消)
	太 折(28戸96名、8月6日午前10時解消)
	舟形第一(2戸 3名、8月6日午前10時解消)
	長沢第一(7戸 22名、8月6日午前9時解消)
(4) その他の主な被害	
商工業者等被害	6件 被害額 12,882千円(商工会関係)
道路災	21路線 被害額 140,000千円
農地農業用施設災	215ヵ所 被害額 179,000千円
林道災	4路線 被害額 66,800千円
河川災	8河川 被害額 119,000千円(町管理河川)
水道施設被害	被害額 12,100千円
農集排施設被害	被害額 4,000千円
河川公園被害	被害額 30,000千円
農産物等被害	310ha 被害額 150,247千円



▲降水量が計画雨量を超えたため次子村山線が一時冠水



▲アユパーク内の舗装が流出



▲一の関大橋の橋台部の土砂流出



▲増水した小国川。濁流が木々を飲み込む



▲水田にも大きな爪あとが



▲土砂流入の復旧作業



▲消防団(水防団)による排水作業

「4市町村で最多降水量」
 県内は最上と庄内の両地域を中心に、6日も未明から記録的な豪雨に見舞われました。新庄や真室川、金山、最上の各市町は観測史上最多の24時間降水量を記録しました。人的被害はなかったのですが、各地域で家屋の床上、床下浸水が約100棟を数え、舟形、大蔵、戸沢の各町村の6地区は一時孤立。戸沢村蔵岡地区は集落が冠水し、県のまとめでは県内11市町村の56地区で避難指示・勧告が出され、少なくとも1295名が避難所に身を寄せました。



▲舟形第1の急傾斜地の崩壊



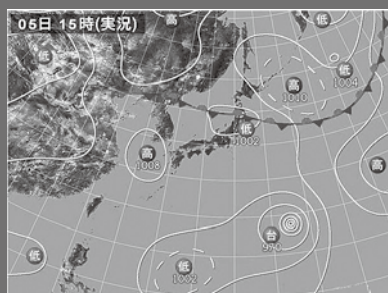
▲たくさんの避難者であふれる中央公民館



▲6日未明の災害対策本部の様子



▲舟形八幡神社が全壊



▲5日午後3時の天気図

〈前線に湿った空気、猛暑も要因〉
 今回、庄内、最上地方を襲った局地的な大雨は、各観測地点で24時間当たりの降水量が観測史上最多を記録。戸沢村では6日未明、1時間で約100ミリの猛烈な雨を観測しました。
 仙台管区気象台などによると、冷たい空気と暖かい空気がぶつかり合う前線が本県北部で停滞し、南から暖かく湿った空気が流れ込み、地表近くと上空の温度差が大きくなり、対流雲(積乱雲)が発生。大気が不安定な状態となり、落雷を伴う局地的な大雨が降りました。前線が停滞していたため、長時間、この状態が続きました。
 今夏は太平洋高気圧とチベット高気圧に覆われ、例年より高温で上昇気流が強く、地表と上空との湿度差も大きい、これも豪雨の要因の一つになりました。

「8月5日～6日の豪雨」による災害

真夜中の豪雨…

▼冠水した西ノ前アンダーの様子。車に取り残された方が救助された。

